

【2 学期始業式】 8 月 31 日（木）

数か月前のある新聞に、京都大学霊長類研究所元所長、松沢哲郎氏の「チンパンジーは『今、ここ』を生きている。」との言葉が載っていました。2 学期の始めにあたり、チンパンジーと人との違いの一つについて、次のような話をしました。

今日は、松沢先生が研究している人間に最も近いと言われている動物、チンパンジーを例に人との決定的な違いの一つをお話します。

人間に近い動物といえば、チンパンジーやボノボ、「森の人」といわれるオラウータン、東山動物園のイケメンゴリラ、シャバーニ、そうゴリラです。

愛知県の犬山市に京都大学霊長類研究所があり、主にチンパンジーの研究が行われています。チンパンジーはヒトに近いため、かつては動物実験に使われ、ヒトが罹る B 型肝炎などの病気のワクチンの製造に関わっていました。現在日本ではこのような動物実験は行われていません。熊本県にも京都大学の施設があり、そこでは動物実験に使われたチンパンジーたちが終の棲家として余生を豊かに暮らしています。

松沢先生も含め、これらの研究をしている研究者は、チンパンジーやボノボはサルより進化した動物ですので、彼らを数えるときは一人二人と数え、また性別は男性、女性と言います。ちなみに犬山には男女合わせて 12 人、熊本には男女合わせて 58 人のチンパンジーが暮らしているそうです。

数年前、松沢先生の講演を聴く機会がありました。当時、松沢先生は女性のチンパンジー、アイの研究していました。アイは 1 歳の時に西アフリカから犬山にやってきて、松沢先生らの身近ですっと育てられました。アイは現在 40 歳、チンパンジーの寿命からするとおばあさんです。研究の目的は、私たちに最も近いチンパンジーがどのように学ぶのかを知ること、私たち人間がどのように学ぶのかを知るためだそうです。「ことばを覚えたチンパンジー」として紹介されたアイは、努力家で知能が高く、数字も覚えて数の概念をもち、松沢先生らとやりとりすることができ、天才チンパンジーとも呼ばれました。

何年か経って、アイに子どもができました。子どもができたといっても、アイは野生の群れの中で育てていません。子ども抱き方、育児の仕方也不知道。松沢先生らがぬいぐるみ等を使って教えたそうです。

生まれたのは男の子で、名前は健やかに歩むようにとアユムと名付けられました。西暦 2000 年の生まれですので、現在は 17 歳くらい、立派な若者になっていることでしょう。アイは松沢先生らがいろいろなことを教えたが、アユムは母親のアイが教えます。チンパンジーの母親が、子どもにどのように教えるのか、どのように伝えるのか、それが研究のテーマでした。アユムは、コンピューター画面に 1 から 9 までの数字が一瞬出て、すぐに白

い四角形で隠されても、瞬時に場所を記憶し、画面を小さい順に押さえていくこともできました。私たち人はなかなかできません。これらの研究や知見が人の子の教育や成長のヒントになっています。

さて、新聞記事の内容に戻ります。松沢先生の言葉として記事には、チンパンジーは常に「今、ここ」を生きている、ありました。確か、松沢先生の講演の時であったかと思いますが、病気のため寝たきりのチンパンジーの映像を見ました。病気のためあと一か月ほどの命だそうです。床ずれもひどく、痛々しく可哀想だと思いました。しかし、痛みは感じているが、死を想像することはできないし、悲観することもない、後悔することもない、自ら命を絶つということもない、とのことでした。

しかし、私たち人と違いは、人は過去や未来に思いをはせ、過ぎし日を懐かしみ、後悔もすれば、行く末を案じ、祈りもします。うまくいったときもうまくいかなかったときも、動揺することがあります。今現在を、過去から未来への時間軸を同時に感じ、豊かな時間を生きています。だから逆に、悩んだり、迷ったり、悲しんだり、思い出に自分を見直すことができるのでしょう。

松沢先生の著書には「絶望するのと同じ能力、その未来を想像するという能力があるから、人間は希望をもてる。」とあります。

私たち人間の特性、特権？として過去から学ぶことができ、未来を想像することができます。そんな能力をそのままにしておいて、使わないのは少々残念な気がします。

皆さんが成人となる20歳の時、そして社会に出て仕事をしている30歳の頃・・・、その時、どうありたいのか、先を見据えて、今の時間をどう過ごすのかを考えることが大切です。

さあ、天高く馬肥ゆる秋を迎えます。私たち人間だけに「未来を想像できる能力がある」ことを胸に、自分を高めるべく、意欲的にこの2学期を過ごしましょう。

【夏季休業中の応援ありがとうございました】

夏季休業中に、ラーニングフェスタ（1年生）、篤志プロジェクト（2年生）、夏季課外（全学年）が行われました。これらに参加したことで、生徒それぞれの今後の飛躍に繋がったと感じています。

また、多くの運動部、文化部が公式戦や大会・コンクールに出場しました。PTAや同窓会からご協力やご支援をいただきました。ありがとうございました。結果等につきましては当HP等に紹介しますので、ご覧ください。



インターハイ・弓道男子団体（8/2 於：仙台市）